

聴覚障害と発達障害を あわせ有する児童の支援

実践の取り組み内容 小3男子 軽度難聴、発達障害（療育手帳B2）

- ・小1 こども病院からの紹介で教育相談開始
- ・小2 本校通級指導
- ・小3 本校通級（巡回）指導 ←今年度
- ・在籍小学校へ難聴の理解啓発
（本人の聞こえ方、配慮について）
- ・在籍学級でのクラスの様子を参観
- ・巡回指導では、自立活動と教科の補充

実践の成果と課題

成果

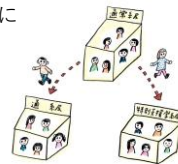
- ・補聴器を安定して装用できるようになった
- ・在籍校での巡回指導では、落ち着いて学習に取り組めるようになった

課題

- ・学習面（読み、書き）の難しさ
- ・来年度の進路について（保護者は難聴学級希望）
- ・保護者の理解

実践のなかで自分が学んだと思うこと

- ・対象児童、保護者に対する向き合い方
- ・学習に向かうことが難しい児童に対する指導
- ・在籍校、関係機関との連携



実践活動の今後に向けて

- ・在籍校、関係機関（病院、教育委員会、デイサービスなど）と連携し、ケース会議を行う。
- ・特別支援学級、難聴学級、通常学級に在籍した場合のメリットとデメリットを理解する。
- ・毎日の学習保障ができる環境を用意する。

地域支援づくりへの提案

- ・在籍小学校へ難聴の理解啓発
（対象は、職員または児童）
- ・在籍校、関係機関が連携し、その児童にとってよりよい進路選択をする。